

めだか のすめる たんぼ づくりをめざして

### 宮城県石巻産業振興事務所 農業農村整備部

〒986-0812 石巻市東中里1丁目4-32

Tel 0225(95)1411 (内)473

Fax 0225(96)4880

E-mail iss-s-kt@pref.miyagi.jp

URL <http://www.pref.miyagi.jp/issgsin/>

編集・発行  
宮城県石巻産業振興事務所 農業農村整備部

## 河南町須江館行政区の 宝物 思い出探検について

平成15年11月22日(土)、河南町須江館行政区の住民らを対象に「須江館行政区の宝物・思い出探検～館のいま、むかし、そして、これから～」と題したワークショップが開催されました。同行行政区では、みやぎの活き活き地域づくり支援事業「みやぎ手づくりプラン」の中で、住民総参加の活性化ビジョンづくりを進めており、今回の集落点検では、その基礎資料を収集するため、宮城県農業短期大学田村孝浩先生のご指導のもと、地域住民で組織する「河南4期地区活性化委員会」の主催により、企画・実施されました。

イベント当日は、冷たい北風が吹き荒れる悪天候にもかかわらず、地域住民の方々、宮城県農業短期大学の学生や関係機関(石巻産業振興事務所、河南町、宮城県土地改良連合会、河南矢本土地区改良区、JAいしのまき)など老若男女総勢47名の方々が参加し、午前集落点検を、午後集落点検マップ作りを行いました。

午前は、5グループに分かれ、須江農村定住センターを起点に、それぞれ館・茄子川・欠の3地区の史跡、施設、自然環境などを実際に歩いて見て回りながら集落点検を行いました。参加者からは、「となりの集落でありながら、普段気が付かなかったところが多かった。」「思いがけない発見があった。」など、これまで見落としていた地域の良さや新たな魅力が発見されたようでした。

午後は、午前中に収集した資料や写真を用い、地域づくりの基礎となる「集落点検マップ」の作成に取り組みました。活発な意見交換の中で作業が進められ、各グループが個性的かつ様々な視点の集落点検マップができました。

最後にグループごとにとりまとめた内容を発表し、ここでもまた違った地域の魅力が再発見されたようでした。

今回の集落点検とマップ作りを実施した結果、地域内における宝物(資源)や問題点などが再発見され、地域の特徴と課題を概ね整理することができました。また、「自然環境を保全したい。」「ほ場整備を実施したい。」「子供たちが集うことができる公園がほしい。」など具体的な方向性も少しずつ見えてきました。

その後、同行行政区では、第2回、第3回とワークショップを実施し、地域の将来構想について住民の意見を取りまとめており、今後これらの結果を参考に、活性化委員会が活性化ビジョンの作成を進めてゆく予定です。



集落点検の様子(午前)



マップ作りの様子(午後)

## 知っていますか？ 農業農村整備部のホームページ・・・

石巻産業振興事務所農業農村整備部のホームページはご覧になったことはありますか？

農業農村整備部のページでは、石巻管内の事業概要や「地域産業の学習講座」の情報などを掲載しています。

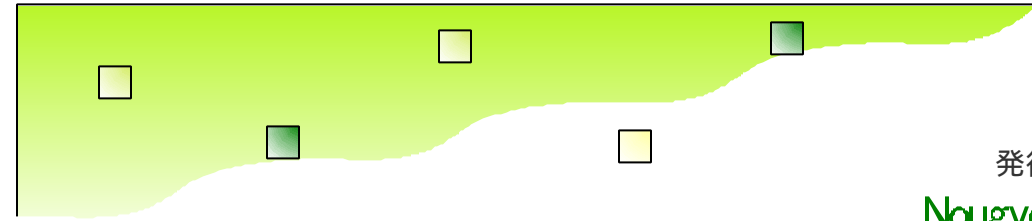
詳しい情報を見やすく・リアルタイムに提供し、関係機関の皆さんだけでなく、一般の方々なども広く活用できるものにしていきたいと考えています。

アクセスは石巻産業振興事務所HP (<http://www.pref.miyagi.jp/issgsin/>) から「分野別案内」「農業農村整備」をクリックしてください。



NougyouNouson

# いしのまきNN通信



上品山山頂より望む石巻管内の風景

「いしのまきNN通信」は、農業農村整備事業に対する理解を得ることを目的に、年数回発行しております。掲載希望の情報等がありましたら計画調整班までご一報ください。今後ともよろしく申し上げます。

## 県営ほ場整備事業(担い手育成型) 北赤井地区について

平成16年2月13日に、矢本町北赤井地区で実施されている県営ほ場整備事業(担い手育成型)の安全祈願祭が行われました。祈願祭には、ほ場整備事業実行委員会の川田委員長(写真左)、石巻産業振興事務所の千葉農業農村整備部長(写真右)、矢本町及び河南町助役、五野井河南矢本土地区改良区理事長らが出席し、工事の安全を祈願しました。

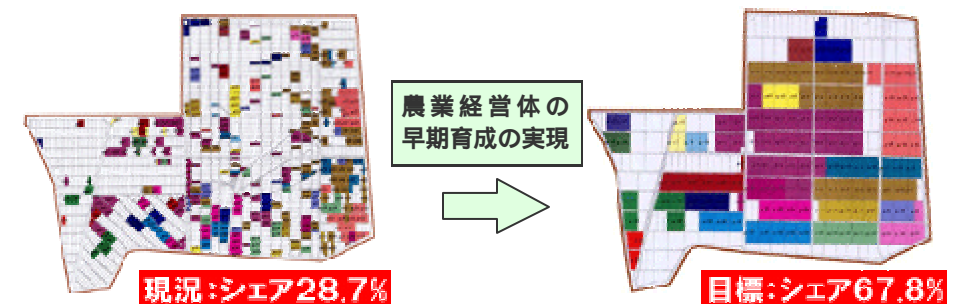


安全祈願祭の様子

### 北赤井地区(矢本町)の事業概要

受益面積: 194.3 ha、事業費: 2,660,000 千円、工期: 平成14~19年度予定

北赤井地区では、「換地と集積を一体的に行うモデル地区」として、農業経営体の早期育成を目指す為の新たな試みが展開されています。具体的には、面工事を短期間(3年間)で完了し、換地・集積業務等を効率的に進め、短期間で目標とする67.8%シェア(担い手への農地集積面積)の実現を目指しています。



第3号の目次:

ほ場整備事業「北赤井地区」について	1
宮城県北部連続地震の災害について	2
H14 農業農村整備事業の完了地区について	3
河南町須江館行政区の宝物・思い出探検	4
知っていますか? 農業農村整備部のHP	4



## 宮城県北部連続地震の災害について

### 石巻管内の農地・農業用施設で被害報告額約16億1千万円に

平成15年7月26日未明から連続して発生した地震は、一日のうちに震度6クラスの地震が3度発生という他に類を見ないもので、余震にいたっては震度4クラスのものを含めその後長期に渡って続きました。人的被害こそありませんでしたが、河南町、矢本町、鳴瀬町など震源地周辺に被害が集中し、家屋の倒壊、道路の亀裂、堀の崩壊など多大な被害を被りました。

またこの地震によって、農地の液状化による不陸、水路の隆起沈下や破損による通水不能、農道の亀裂崩壊、用排水機場の破損など地震発生数日前から降り続いた豪雨も影響したことから農地・農業用施設に多大な被害を与えました。石巻産業振興事務所では各自治体、土地改良区、土地連と共に現地調査を行い被災箇所と被災額の取りまとめを行ったところ、石巻管内では農地61ヶ所、農業用施設330ヶ所で、16億1千万円程の被害報告がありました。この中でも特に用水施設と排水機場は急務なので、東北農政局と打合せを行い応急的に復旧工事を施工し、用水不能による生育障害、冠水による被害を防止することができました。

### 災害復旧事業の取組みについて

農地や農業用施設の復旧には「災害復旧事業」を適用します。現地で事業申請を行い国の査定官が事業量を査定し事業費を決定します。この仕組みによって早期の復旧工事を行うことができます。今回の地震災害による県全体での査定件数は154件に及び、そのうち116件(75%)を当管内で占めています。今回の地震災害では9月末から12月中旬まで順次現地査定を実施し、早い所では12月から復旧工事に着手しています。

また「災害復旧事業」の大きな特徴の1つに、『補助率の嵩上げ』があります。復旧事業費に対して国の補助率が農地で50%、農業用施設で65%を最低ラインとして、受益者一人当たりの負担額に応じて補助率が嵩上げされていきます。補助率は各自治体ごとに異なりますが、河南町、矢本町、鳴瀬町は激甚法の指定を受けたことより、石巻管内平均で約90%の高率補助となる予定です。地震発生から半年が過ぎ、未だに地震の爪痕を残している所もあります。事務所としても事業主体の変更を行い7件の県営災害に取り組み、

地元負担の軽減を図っています。復旧工事の対応の遅れを指摘する報道も見受けられますが事業の趣旨から今後急ピッチで復旧工事を進め、春の耕作に間に合わせるよう事務所一丸となって努力しています。



農地・農業用施設被害箇所 位置図

工種別被災箇所数



被害状況(農道)



被害状況(ため池)

## 平成14年度農業農村事業の完了地区について

農業農村整備事業は、将来にわたり優良農地を保全する生産基盤の整備や、豊かで魅力ある農村づくり等を推進しています。石巻管内でも多くの事業を実施しており、次ぎの4地区が平成14年度に事業を完了しました。

### 1. ほ場整備事業

事業内容：昨年度完了した下記3地区の水田は、昭和初期に行われた耕地整理による10a区画で、用排水路も分離されておらず、道路幅員も2~3mと狭いなど、農業の近代化を進める上で多大な障害となっていたため、ほ場整備事業を実施し、農地の汎用化による高度利用や、大型機械化による高生産性の向上及び農業構造の改善を図るものです。

#### 河南1期地区(河南町)

受益面積：456.9 ha、事業費：6,489,954 千円、工期：平成6年~14年度

河南1期地区の特色の1つとして、ほ場整備により用地を創出し、カントリーエレベーターや産地直売所「やさいつ娘」を建設。本事業により、大規模経営の展開やアグリビジネスの実施など農業構造の改善が図られています。

#### 野蒜地区(鳴瀬町)

受益面積：171.5 ha、事業費：2,760,000 千円、工期：平成5年~14年度

野蒜地区の担い手育成は、平成14年度集積率が68.4%(県内4位)、平成14年度集積増進率147.5%(県内8位)と、県内トップレベルの成果を上げています。

#### 五味倉地区(矢本町)

受益面積：55.7 ha、事業費：724,000 千円、工期：平成9年~14年度

五味倉地区の担い手育成は、平成14年度集積率が67.1%(県内6位)、平成14年度連担化率46.7%(県内3位)と、県内トップレベルの成果を上げています。

### 2. ため池等整備事業(用排水施設整備工事)

事業内容：用排水路築造後、自然的社会的状況の変化等により老朽化した水路を整備し、農業施設や公共施設等の災害を未然に防止し、農業経営の安定と農村地域の環境保全を図るものです。

#### 五味倉地区(矢本町) 受益面積：225.9 ha、事業費：124,200 千円、

工期：平成9年~14年度(五味倉地区：平成9~11年、

五味倉2期地区：平成12~13年、五味倉3期地区：平成9~11年)

本地区は、昭和29年~30年度に、国営かんがい排水事業「定川地区」の五味倉機械排水路として、2級河川定川右岸沿いに築造された排水路です。長年の風雨による老朽化が著しく、維持管理に困難をきたしていたため、平成9年度から3地区が採択され、完成に6年を要し整備を終了しました。

県営ほ場整備事業「五味倉地区」の主要排水路にもなっており、農業経営の安定と災害の未然防止に役立っています。



河南1期地区



野蒜地区



五味倉地区



五味倉排水路